

評価対象年度	平成26年度	施策評価シート(震災復興用)		政策	5	施策	3
施策名	3			上下水道などのライフラインの整備	施策担当 部局	環境生活部, 土木部, 企業局	
「宮城県震災復興計画」における体系	政策名	5	公共土木施設の早期復旧 【公共土木施設】	評価担当 部局 (作成担当 課室)	企業局 (水道経営管理室)		

施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	①下水道の整備 ◇ 流域下水道においては、長寿命化支援制度に基づく計画の策定や下水道施設の補修・修繕を実施し、施設の老朽化対策や延命化によるコスト削減を図り、耐震化等の機能向上を含めた長寿命化対策を計画的に推進する。また、工業団地や住宅団地整備に伴う流入量増加を見込んだ水処理施設の増設工事を実施する。
	②広域水道、工業用水道の整備 ◇ 広域水道及び工業用水道の安定供給を図るため、耐震化及び緊急時のバックアップ機能を担う連絡管の整備促進を図る。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成26年度 (決算(見込)額)	平成27年度 (決算(見込)額)	平成28年度 (決算(見込)額)	平成29年度 (決算(見込)額)
	県事業費		8,936,875	-	-

※決算(見込)額は再掲分含む

目標指標等	■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」											
	■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 スtock型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>初期値 (指標測定年度)</th> <th>目標値 (指標測定年度)</th> <th>実績値 (指標測定年度)</th> <th>達成度 達成率</th> <th>計画期間目標値 (指標測定年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%)</td> <td>1.2% (平成25年)</td> <td>4.4% (平成26年)</td> <td>3.6% (平成26年)</td> <td>C 75.0%</td> <td>88.5% (平成29年)</td> </tr> </tbody> </table>		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)	1 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%)	1.2% (平成25年)	4.4% (平成26年)	3.6% (平成26年)	C 75.0%
	初期値 (指標測定年度)		目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)						
	1 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%)	1.2% (平成25年)	4.4% (平成26年)	3.6% (平成26年)	C 75.0%	88.5% (平成29年)						

平成26年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	49.0%	16.9%	II

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合50%以上
かつ不満群の割合25%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合50%未満
かつ不満群の割合25%以上

■ 施策評価（原案）	やや遅れている
-------------------	----------------

評価の理由	
目標指標等	・東日本大震災を教訓とし、今後の地震動に対する緊急時(漏水時)における送水停止を防止する対策として、用水供給事業の送水管同士を接続する連絡管の整備率を目標値として設定し、平成27年度からは整備工事が本格化するため目標値も予算規模にあわせ進捗する見込とし、平成31年度まで完了する計画とした。
県民意識	・上下水道などのライフラインの復旧や施設等の耐震化及びバックアップ機能の整備等については、身近な問題として県全体の78.7%に高重視群であると認識されている。その施策に対する満足度については49%と県全体のおよそ半数が満足群の回答をしており、不満群については16.9%となっていることから順調であると判断する。
社会経済情勢	・東日本大震災で被災した、水道用水供給事業及び下水道については復旧が完了したが、特に沿岸部の市町水道施設においては、復興まちづくり事業の進捗に合わせた復旧作業が必要であることから、未だ復旧が完了していない地域もあり、早期の復旧が望まれている。また、復旧が完了した施設等においても、今後の地震動に対する耐震化対策等が望まれている。
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね、上下水道施設における復旧が順調に完了し、流域下水道施設においては補修・修繕を実施し、施設の耐震化等による機能向上や老朽化対策や長寿命化対策を実施した。 ・広域水道及び工業用水道施設においても施設の耐震化及び緊急時のバックアップ対策を計画どおり実施した。 ・目標値に対しては整備計画の変更等により予定していた項目が達成出来なかったが、事業期間中の進捗状況をフォローし、予定どおり事業完了を目指すこととし、施策の目的である「ライフラインの整備」の評価としては、やや遅れていると判断する。

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・流域下水道、広域水道、工業用水道の復旧は完了したが、市町村所管の水道施設においては、今後も復旧支援の継続的な取組が必要である。 ・復旧が完了した施設及び被害を受けなかった施設についても、今後の地震動に対する耐震化対策等の整備が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村所管の水道施設については、引き続き復旧支援事業の継続を図る。 ・施設の耐震化対策や延命化対策により施設の機能向上を計画的に実施する。また、緊急時におけるバックアップ機能対策について整備促進を図る。

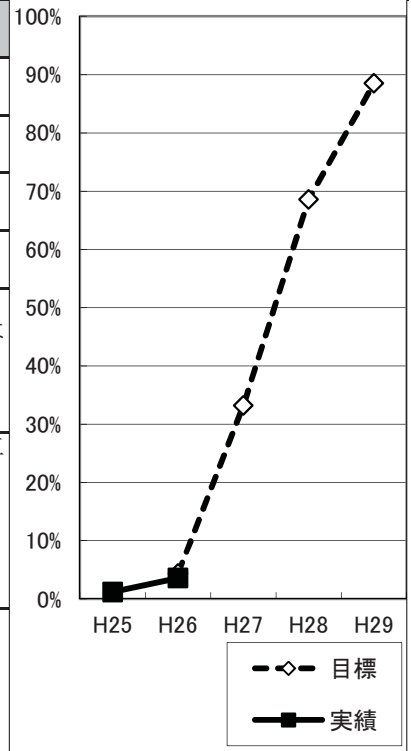
評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	5	施策	3
----	---	----	---

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)
 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29
	緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%) [ストック型の指標]	指標測定年度	H25	H26	H27	H28	H29
目標値		-	4.4%	33.2%	68.6%	88.5%	
実績値		1.2%	3.6%	-	-	-	
達成率		-	75.0%	-	-	-	
目標値の設定根拠	・今後の地震動に対して緊急時(漏水時)における送水停止防止対策として、広域水道の連絡管を整備し安全で安定的な用水供給を行うこととし、平成26年度より工事に着手し、平成31年度までに事業の完了を目指す。						
実績値の分析	・工事着手に必要な調査設計を実施し、計画を1年間前倒しし、平成26年度に工事着手した。 ・目標値に達していない原因として一部計画変更があったことから、平成26年度は調査のみとなり、測量設計を実施出来なかったことによる。事業期間中に進捗状況をフォローし予定どおり事業完了を目指す。						
全国平均値や近隣他県等との比較	-						



評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	5	施策	3
----	---	----	---

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成25年県民意識調査)		平成26年度 (平成26年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	61.2%	87.1%	51.7%	82.0%	47.5%	78.7%
		やや重要		25.9%		30.3%		31.2%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	3.0%	3.9%	3.7%	4.2%	4.9%	5.8%
		重要ではない		0.9%		0.5%		0.9%	
		分からない		9.0%		13.8%		15.5%	
		調査回答者数		1,929		2,026		1,729	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.4%	50.7%	12.4%	51.1%	13.2%	49.0%
		やや満足		39.3%		38.7%		35.8%	
		やや不満	不満群 の割合	17.9%	23.8%	14.6%	18.8%	12.7%	16.9%
		不満		5.9%		4.2%		4.2%	
		分からない		25.4%		30.1%		34.1%	
		調査回答者数		1,910		1,998		1,703	
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	62.0%	88.5%	52.7%	82.0%	50.5%	79.0%
		やや重要		26.5%		29.3%		28.5%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	2.7%	3.3%	3.8%	4.2%	5.1%	6.0%
		重要ではない		0.6%		0.4%		0.9%	
		分からない		8.3%		13.9%		15.0%	
		調査回答者数		786		820		673	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.1%	49.9%	12.7%	49.3%	15.7%	50.0%
		やや満足		38.8%		36.6%		34.3%	
		やや不満	不満群 の割合	17.8%	24.8%	14.8%	19.6%	12.9%	18.1%
		不満		7.0%		4.8%		5.2%	
		分からない		25.3%		31.0%		31.8%	
		調査回答者数		774		809		667	
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	60.8%	86.3%	51.3%	82.3%	45.7%	78.6%
		やや重要		25.5%		31.0%		32.9%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	3.2%	4.3%	3.8%	4.5%	4.9%	5.8%
		重要ではない		1.1%		0.7%		0.9%	
		分からない		9.5%		13.2%		15.5%	
		調査回答者数		1,135		1,171		1,023	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.7%	51.2%	12.3%	52.8%	11.4%	48.4%
		やや満足		39.5%		40.5%		37.0%	
		やや不満	不満群 の割合	18.1%	23.3%	14.4%	17.9%	12.5%	16.0%
		不満		5.2%		3.5%		3.5%	
		分からない		25.5%		29.3%		35.7%	
		調査回答者数		1,129		1,156		1,004	

※ 沿岸部 : 沿岸15市町
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	5	施策	3
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業											
評価番号	事業番号	事業名	平成26年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
1	① 01	流域下水道事業	3,259,638	流域下水道の流入量の増加と施設の老朽化に対応するため、整備を行う。				・流域下水道事業を行う全7流域において、処理場・ポンプ場・管渠施設の長寿命化・改築更新工事を実施。 ・吉田川及び北上川下流域において、処理場施設の増設を実施。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		土木部	ビジョン 関連:取組31	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
		下水道課		妥当	成果があった	効率的	維持	3,259,638	-	-	-
2	① 02	流域下水道事業 (維持管理)	5,278,746	清潔で良好な生活環境の確保と水質の保全を図るため、流域下水道施設の適切な維持管理を行う。				・維持管理指定管理者制度により、流域下水道施設(7流域)の維持管理を実施。 仙塩流域下水道施設 阿武隈川下流域下水道施設 鳴瀬川流域下水道施設 吉田川流域下水道施設 北上川下流域下水道施設 迫川流域下水道施設 北上川下流東部流域下水道施設			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		土木部	ビジョン 関連:取組31	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
		下水道課		妥当	成果があった	効率的	維持	5,278,746	-	-	-
3	① 03	流域下水道事業 (調査)	16,054	自然災害に対してより強固かつ柔軟な対応が可能となる生活排水処理基本構想や流域別下水道整備総合計画を策定するため、被害状況等の調査を実施する。				・仙塩及び阿武隈川流域別下水道整備総合計画を策定中(H24~H27継続)。 ・仙塩、北上川下流、迫川及び北上川下流東部流域において、事業計画の見直しを行った。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		土木部	ビジョン 関連:取組31	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
		下水道課		妥当	成果があった	効率的	維持	16,054	-	-	-
4	② 01	水道施設復旧事業	294	震災で被害を受けた市町村所管の水道施設について復旧支援を行う。				・特に被害が大きく復旧計画の総合的な調整が必要なため、「協議設計」箇所として実施が保留されている沿岸市町の復旧事業のうち、協議が整った44事業で約135億円の保留を解除した。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		環境生活部	ビジョン 関連:取組31	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
		食と暮らしの安全推進課		妥当	成果があった	効率的	維持	294	-	-	-

5	② 02	広域水道緊急時 バックアップ体 制整備事業	251,777	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				安全で安定的な水道用水の供給を図るため、緊急時におけるバックアップ用の連絡管の整備を行う。				・連絡管敷設箇所での測量設計業務を終了させ、工事着手を1年間前倒し実施した。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
企業局	ビジョン 関連:取組31	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29		
水道経営管理室		妥当	成果があった	効率的	維持	251,777	—	—	—		
6	② 03	広域水道基幹施設等耐震化事業	32,043	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				安全で安定的な水道用水の供給を図るため、調整池や浄水場等の基幹水道構造物の耐震化工事を行う。				・麓山第一調整池の耐震補強実施設計を実施した。 また、南部山浄水場の沈殿・ろ過池については他事業との調整があり、継続して設計を行う。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
企業局	ビジョン 関連:取組31	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29		
水道経営管理室		妥当	成果があった	効率的	維持	32,043	—	—	—		
7	② 04	工業用水道基幹施設耐震化等事業	98,323	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				工業用水を安定的に供給するため、管路、施設等の基幹水道構造物について耐震化工事や緊急時におけるバックアップ用の施設の整備を行う。				・大梶配水池の耐震補強工事を実施した。 ・熊野堂沈砂地の耐震補強実施設計を実施した。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
企業局	ビジョン 関連:取組31	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29		
水道経営管理室		妥当	成果があった	効率的	維持	98,323	—	—	—		
決算(見込)額計			8,936,875								
決算(見込)額計(再掲分除き)			8,936,875								